

猪之鼻奨学会

編集発行者

公益財団法人
猪之鼻奨学会

千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号
〒260-8670 千葉大学医学部内
電話 043-226-2509 内線 5024

創 立 1915年(大正4年)

猪之鼻奨学会報 第24号 題字 井出源四郎(第八代千葉大学学長)

猪之鼻奨学会の長い歴史とその意義

千葉大学理事・副学長

中 谷 晴 昭

公益財団法人猪之鼻奨学会の代表理事を務められていた高橋和久先生から会報への執筆のご依頼を頂きました。改めて最近発行された猪之鼻奨学会報を拝見しますと、その長い歴史と伝統がひしひしと伝わります。会報の題字は第8代千葉大学学長を務められた井出源四郎先生によって書かれたものですし、歴史的資料として掲載された医学書の宣伝広告や薬剤広告は時代を感じさせるものであり、現在では貴重なものと思われまふ。1915年に創立された猪之鼻奨学会が、100年以上にわたって学部生への奨学金や若手研究者への研究助成金を支援する組織として存続してきたことは、先人達の医療を支える若者たちへの熱い期待の表れであり、それが今日まで脈々と続いてきたことには心から敬服するものであります。

近年、国立大学法人を取り巻く環境は厳しく、毎年、運営費交付金が着実に減額される状況が続いております。従って、各教室に配分される基盤的校費は極めて少ない状態となり、実験的研究を行うためには科学研究費等の外部資金の獲得が必須となっております。しかも、最近の競争的外部資金においては、近い将来、社会実装につながるものが期待される「応用研究」が重視されて採択に至ることも多いものの、いわゆる「基礎研究」が軽視されて採択される機会が減っている傾向が見て取れます。また、大型の研究費は特定のみを御所の研究室に集中しやすく、若手および中堅研究者にとって基礎研究の原資となる外部資金の獲得は極めて難しい状況となっております。そのような中でも、猪之鼻奨学会からの研究助成金を獲得することができれば、若手・中堅研究者にとってはかけがえのない大きな自信となり、研究への新たなモチベーションになると思っております。亥鼻キャンパスで医学・薬学の基礎研究に携わる若い研究者への継続的なご支援を切にお願い致します。

「寄付文化」再考

千葉大学名誉教授
帝京大学アジア国際感染症制御研究所 特任教授

山 本 友 子

40年程前アメリカに留学し、隣室のイラン人大学院生姉妹ととても親しくなりました。彼女達は議論好きで、ある時、常識とは？の話で「喜捨した人が、受け取った人に有難う、と感謝の気持ちを示す」のが常識と聞かされ、それは逆では？と反論したことがありました。「富める者はそうでない者に対して慈善を行うのが義務(ザカート)を知らない」と呆れられ、どう頑張っても英語では太刀打ちできず「ハイハイそうですか」で議論は終わりにしてもらいました。この時が「寄付」について初めて真面目に考えた時であったように思い出しています。

「寄付文化」はわが国には根付いていないといわれる一方で、新しい試みが生ま

れています。今世紀に入って作られたクラウドファンディング(CF)というシステムは、我が国でも募金ツールとして活用されているようです。そもそもクラウド(群集)とファンディング(資金調達)という2つの言葉をつなぎ合わせたものですが、インターネット社会がもたらした新しい文化と思えます。国立博物館の研究者が、古代人が台湾から与那国島に手作りの小舟で移動したことを証明する大実験を、CFで資金調達し、大成功させたことはその一例だと思います。今日現在もCF募集中のサイトを見ると大きな夢、小さな夢が語られ、心が動かされそうなものが沢山見受けられます。CFは、今何故受け入れられたのでしょうか。デジタル社会と言われる昨今、インターネットで結びついた限られた人々が目標や価値観を共に持ち、社会を動かす力となっていることが上げられるかと思えます。寄付目的がピンポイントで一つに限定されていることで共感が湧きやすく、夢を共有できると感じられるこ

ご寄附のお願いと寄附金の税額控除のお知らせ

猪之鼻奨学会は、大正4年(1915年)に創立されて以来、多くの方々からの善意の寄附金により奨学事業並びに研究助成事業を実施してきております。

平成24年4月1日「公益財団法人」として、新たにスタートした猪之鼻奨学会は、「定款」に謳いますよう、医学及び薬学の研究を奨励することを目的として、研究事績の優秀な者に研究費の補助、そして学資の欠乏を告げた学生に学資の貸与を行います。これらの事業を遂行するために、どうか皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

一口5,000円ですが、ご都合により何口でも結構です。

同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。

ご入金を確認後、財団から税額控除証明書と領収書をお送りします。これらの書類を控除証明書として確定申告の際にお手続き下さい。ご寄附いただいた寄附金については、税法上の優遇措置があります。寄附金控除額として算出し、所得税額より差し引くことで申請可能です。寄附控除として【所得控除】もしくは【税額控除】のどちらか有利な控除を選択いただけます。年間寄附金額や所得税率によって異なりますが、一般的に【税額控除】を選択していただきますと所得税額が少なくなります。今後とも、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人猪之鼻奨学会 理事・評議員一同

とも大事なんでしょう。猪之鼻奨学会はCFではありませんが、多くの人々の貴重な一灯が、若者の修学、研究の支援という目標に向かって点で一致するものがあります。40年程が過ぎましたが、もう一度イラン人姉妹に議論を挑んでみようか思うこの頃です。

2019年度 公益財団法人猪之鼻奨学会事業報告

自2019年4月1日 至 2020年3月31日

1. 事業の状況

(1) 研究助成金(180万円)の助成 内訳 各30万円 6件(一般の部:5名 若手の部:1名)

一般の部

所 属	研究領域	氏 名	研 究 課 題
順天堂大学医学部附属 浦安病院	救急医学	近藤 豊	末梢血好中球のATP活性を応用した外傷患者の重症度評価
千葉大学医学部附属病院	膠原病	田中 繁	急速進行性間質性肺炎を合併する抗MDA5抗体陽性無菌症性皮膚筋炎患者の予後予測 マーカーの検討
千葉県がんセンター	骨軟部腫瘍	木下 英幸	骨肉腫の肺転移分子機構の解明と新規治療薬の探索
千葉大学医学部附属病院	整形外科	牧 聡	人工知能を用いた整形外科疾患画像の自動診断ツール;疾患ライブラリの構築と診断ア プリの開発
千葉大学医学部附属病院 薬剤部	薬物動態学	山崎 伸吾	医療デバイスの相互作用を考慮した急性血液浄化療法における抗菌薬投与設計法の構築

若手の部

所 属	研究領域	氏 名	研 究 課 題
千葉大学大学院薬学研究院	臨床薬学	山崎 由貴	血中濃度モニタリング法の確立を目指したピンクリスチン血中濃度およびピンクリスチ ン誘発性末梢神経障害の関連の解明

(2) 奨学金の貸与
貸与者なし

(3) 猪之鼻奨学会報の発行(12,000部)
薬学部 4,500部
医学部 7,500部

収 支 内 訳 書

平成31年4月1日~令和2年3月31日

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

	科 目	当年度	前年度	増 減	備考
収 入 の 部	1. 基本財産運用収入				
	基本財産利息収入	5,840	5,840	0	
	事業収入	0	0	0	
	2. 寄附金収入				
	寄附金収入	4,597,000	4,476,000	121,000	
支 出 の 部	3. 貸付金回収収入				
	貸付奨学金回収収入	0	300,000	△ 300,000	
	4. 雑収入				
	受取利息	14	9	5	
	当期収入合計	4,602,854	4,781,849	△ 178,995	
支 出 の 部	1. 事業費				
	研究助成金	1,800,000	1,800,000	0	
	貸付奨学金	0	0	0	
	事業費合計	1,800,000	1,800,000	0	
	2. 管理費				
	給 料	821,084	843,660	△ 22,576	
	旅費・交通費	71,780	93,080	△ 21,300	
	手当・謝金	50,000	50,000	0	
	事務備品費	6,740	8,555	△ 1,815	
	消耗品費	15,901	8,403	7,498	
	印刷費	174,960	191,972	△ 17,012	
	交際費	17,274	10,000	7,274	
	賃借料	35,682	35,355	327	
	通信運搬費	20,558	33,852	△ 13,294	
	会議費	12,862	14,456	△ 1,594	
	支払手数料	290,840	257,040	33,800	
	ホームページ関連費	45,256	43,200	2,056	
	租税公課	895	2,695	△ 1,800	
	記念品費	0	15,217	△ 15,217	
	修繕費	0	16,783	△ 16,783	
雑 費	78,561	70,499	8,062		
	管理費合計	1,642,393	1,694,767	△ 52,374	
	当期支出合計	3,442,393	3,494,767	△ 52,374	

	科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部	1. 流動資産			
	現金預金			
	現 金	5,476	4,490	986
	普通預金	1,209,291	1,049,817	159,474
	流動資産合計	1,214,767	1,054,307	160,460
	2. 固定資産			
	(1) 基本財産			
	基本財産有価証券	0	0	0
	基本財産預金	60,030,800	60,030,800	0
	土 地	0	0	0
基本財産合計	60,030,800	60,030,800	0	
(2) 特定資産				
貸付奨学金	2,400,000	2,400,000	0	
研究助成基金	15,000,000	14,000,000	1,000,000	
特定資産合計	17,400,000	16,400,000	1,000,000	
(3) その他固定資産				
その他固定資産合計	0	0	0	
固定資産合計	77,430,800	76,430,800	1,000,000	
資産合計	78,645,567	77,485,107	1,160,460	
II 負債の部	1. 流動負債			
	未払金	0	0	0
	預り金	0	0	0
	賞与引当金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0	
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	0	0	
修繕引当金	0	0	0	
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	0	0	0	
III 正味財産の部	1. 指定正味財産	78,489,246	76,963,483	1,525,763
	2. 一般正味財産	156,321	521,624	△ 365,303
	正味財産合計	78,645,567	77,485,107	1,160,460
負債及び正味財産合計	78,645,567	77,485,107	1,160,460	

公益財団法人 猪之鼻奨学会寄附金結果報告

千葉大学医学部・薬学部同窓会員

および関係者各位

平素より公益財団法人猪之鼻奨学会の事業につきましましては、多くの方々への深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

2019年度に実施されました寄附金は、下記のように、大勢のご賛同とご協力が得られました。ここに報告させていただきます。

ご寄附いただきました金員は、当奨学会の事業費として有効に活用させていただきますと存じます。お蔭様をもちまして2019度における助成件数は6件、総額180万円の研究助成金を交付することができました。

今後も、皆様方の暖かいご支援とご指導をいただきながら当奨学会の発展に理事・評議員共に更なる努力を重ねる所存です。ここに深甚なる謝意を表するとともに、皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

記

寄附件数 百四件

寄附総額 四百五十九万七千円

二〇二〇年五月一日

公益財団法人猪之鼻奨学会 理事・評議員一同

高額寄付者御芳名 (二〇一九年度)

(敬称略)

秋葉 哲生 千葉県
角張 雄二 神奈川県
軍司 祥雄 千葉県
小屋 佐久次 群馬県
韋 明範 千葉県
橋本 英明 東京都
服部 孝道 千葉県

檜垣 有徳 東京都
東山 都紀 千葉県
横井 邦一 埼玉県
向井 奨 医療社会福祉会 寄附金 奨励賞 神奈川県
七夕の会 東京都
薬友会
あのはな同窓会

二〇一九年度寄附者御芳名 (敬称略)

氏名	都道府県
秋草 克彦	千葉県
浅野 尚	千葉県
伊澤 輝芳	栃木県
石井 伊都子	薬剤部
市川 智彦	千葉県
伊藤 達雄	東京都
伊藤 博	千葉県
今泉 絢子	愛知県
岩倉 弘毅	東京都
大友 一夫	埼玉県
大鳥 精司	千葉県
加来 俊貞	千葉県
片倉 透	千葉県

氏名	都道府県
勝呂 安	静岡県
加藤 直也	千葉県
門山 周文	東京都
神戸 敏行	福島県
菊池 周一	千葉県
木村 広子	埼玉県
窪田 叔子	千葉県
熊谷 仁	千葉県
倉持 宏明	千葉県
黒木 春郎	千葉県
小泉 準三	茨城県
小島 広成	千葉県
小林 延年	千葉県

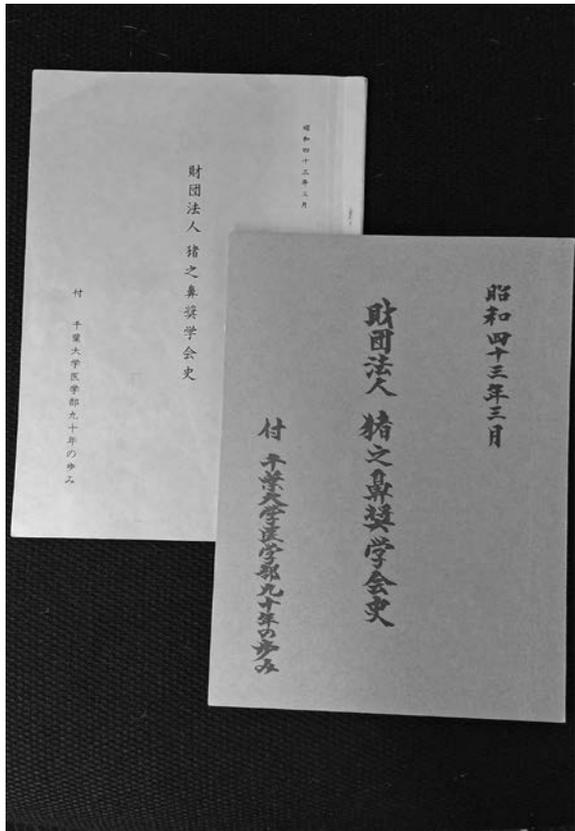
氏名	都道府県
小林 英夫	千葉県
小林 弘忠	千葉県
齊藤 景子	千葉県
佐久川 輝章	千葉県
佐々木 守	千葉県
五月女 隆	千葉県
鈴木 敏幸	神奈川県
鈴木 健文	東京都
鈴木 弓	群馬県
砂田 荘一	千葉県
田垣内 祐吾	千葉県
高山 直秀	東京都
田沢 洋一	千葉県
橘 正道	千葉県
徳久 剛史	千葉県
中嶋 弘道	千葉県
中田 正子	千葉県
中村 和則	千葉県
中村 和郎	千葉県
中村 伸子	千葉県
中谷 晴昭	千葉県
中山 崇	千葉県
西原 尚史	東京都
二村 静子	静岡県
野口 眞利	東京都
野原 智恵子	埼玉県

氏名	都道府県
服部 憲幸	千葉県
花輪 孝雄	山梨県
久田 恵子	長野県
久田 俊和	長野県
姫野 雄司	千葉県
深尾 立	茨城県
古江 増蔵	鹿児島県
古木 新	千葉県
松井 宣夫	愛知県
松前 元	北海道
丸田 哲郎	千葉県
水鳥川 俊夫	千葉県
三橋 稔	千葉県
宮崎 三忠	千葉県
諸岡 信裕	茨城県
山田 善重	千葉県
山本 日出樹	愛媛県
山本 恵司	千葉県
山本 友子	千葉県
山本 博憲	千葉県
吉井 功	千葉県
余田 佳子	千葉県
若新政 史	千葉県
若新 洋子	千葉県
渡辺 和夫	千葉県

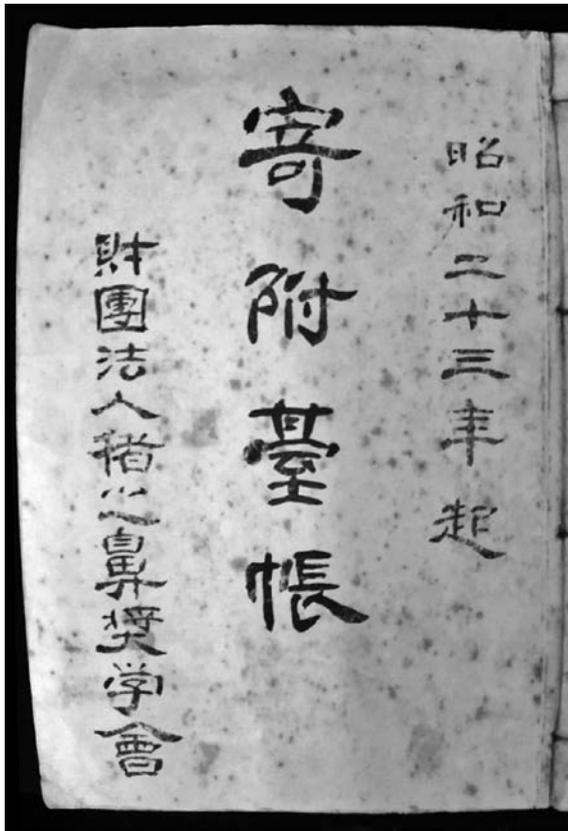
二〇二〇年三月三十一日現在

猪之鼻奨学会の歴史資料

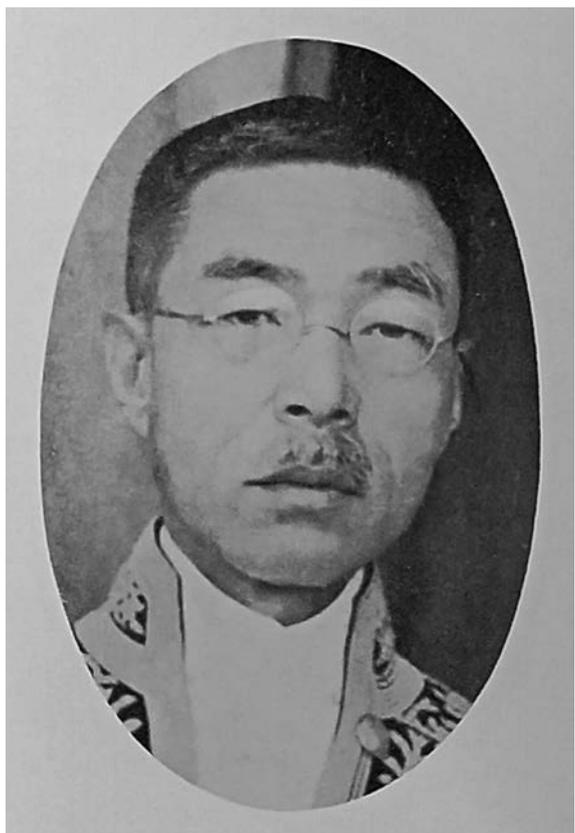
本奨学会の長い歴史の証となる貴重な資料の一部をご紹介します。今回は昭和23年の寄附台帳表紙と昭和43年の猪之鼻奨学会史です。



昭和43年 奨学会史



寄附台帳表紙



二代会長 松本高三郎教授



初代会長 三輪徳寛教授

編集後記

千葉大学では「全員留学」のための「ENGINE」プログラムを2020年4月からスタートしました。ENGINEは「Enhanced Network for Global Innovative Education」の頭文字を取った惹句ですが、「海外留学によりグローバル社会で活躍できる人材育成」を目的とした、文字通り原動力（エンジン）としての取組です。具体的には、全学生に卒業までに1回の海外留学を義務付ける（大学院生も同様に修了までに1回の海外留学が必修）ことで、「グローバル社会に通用する課題解決能力と多様な価値観を備えた人材の育成」を標榜しています。プログラムの実質的で円滑な実施のためには大学側の周到な準備と学生一人一人の意欲が欠かせませんが、一方、多かれ少なかれ学生さんの経済的な負担も予想されます。とりわけ、経済的支援を必要としている千葉で学ぶ学生さんに対して、本奨学会が海外留学を側面からサポートできるような仕組みができれば理想的だと考えます。皆様の猪之鼻奨学会へのご理解とご寄付・ご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

(評議員 高山廣光)